

# すふく あすけ 5万分の1地質図幅「足助」の出版

## 大都市・工業圏の地質情報整備



山崎 徹

やまさき とおる

t.yamasaki@aist.go.jp

地質分野研究企画室  
企画主幹  
(つくばセンター)

専門は地質学、岩石学、地球化学。地質図幅の調査をはじめとする詳細な野外観察をもとに、岩石や鉱物の化学組成や同位体組成の分析結果を用いて岩石の成因を検討する研究を行っています。海外ではオマーン、インドやスリランカの調査のほか、国際海洋掘削船による海洋底の岩石調査も経験しています。



尾崎 正紀

おざき まさのり

masa-ozaki@aist.go.jp

地質情報研究部門  
情報地質研究グループ  
上級主任研究員  
(つくばセンター)

専門は層序学、堆積学、構造地質学。野外調査に基づき、西日本を中心に5万分の1、および20万分の1地質図を作成してきました。もともとは古第三紀～新第三紀の地質を専門としてきましたが、最近では第四紀の軟弱地盤や多様なデータとの統合を目的とした地質図情報整備の研究に携わっています。

### 関連情報:

● 地質調査総合センター  
地質図カタログ: <http://www.gsj.jp/Map/index.html>

### 「足助」図幅の重要性

産総研地質調査総合センターでは、国の知的基盤整備の一環として「地質の調査」を行い、その成果をさまざまな地質図にして出版しています。このうち自らの調査に基づく最も詳細な地質図シリーズが5万分の1地質図幅です。地質図幅は、その地域の成り立ちを地質図・地質断面図で表したもので、地質の内容を詳しく記述した研究報告書がセットになっています。

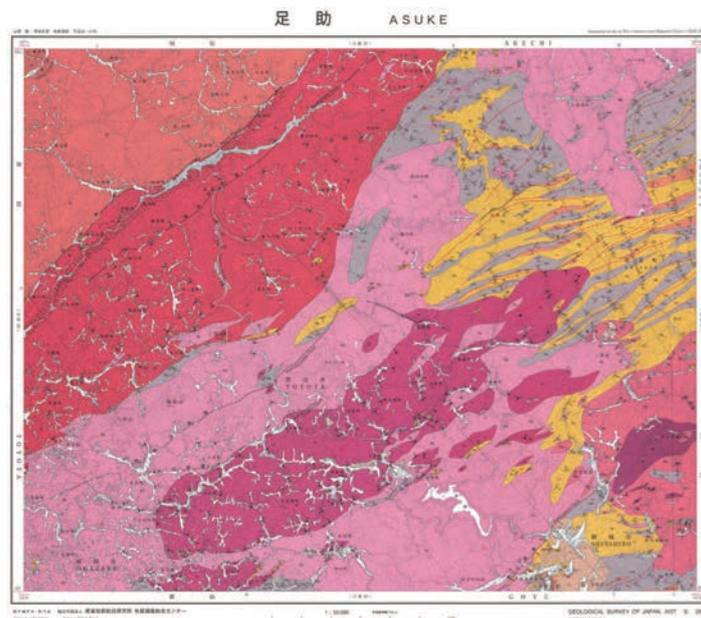
足助地域は、愛知県豊田市の市街地から東方に位置します。豊田市から岡崎市にかけては、自動車関連企業を中心とした工場が数多くあり、いわゆる中京工業地帯の一角をなしています。また、足助地域は名古屋市中心とした大都市圏を取り巻く基盤岩地域であるとともに、近い将来に発生が予測されている東海・東南海地震において大きな揺れが想定されている地域でもあります。そのため、この地域の地質の理解は、周辺の人口密集・工業地域の産業立地評価や都市基盤整備、地震を含む自然災害の軽減対策などに貢献することが期待されます。

### 「足助」図幅の地質の特徴

足助地域は、三河高原のほぼ中央部に位置し、その東部は標高1,000 m級の山々からなり、さ

らに東方の木曾山脈および赤石山脈へと連なり、一方、三河高原西部では標高400 m以下となり、さらに西方には西三河平野が発達します。このような特徴は、この地域全体の地盤が数百万年前（鮮新世末から第四紀）以降、西ないし北西方向に傾いたため形成されました。

地域の地質の理解のためには、野外に分布する実際の構成岩石や地層を観察し、地質体全体としての性質を明らかにすると同時に、それらがいつ形成されたのかを知ることも重要です。この図幅地域の調査にあたっては、これまでに報告されている各種年代測定値を総括するとともに、K-Ar法による放射年代測定を行いました。足助地域の地質の大部分は、1億～8千万年前に形成された花崗岩類から構成されています。また、かつて海洋底に堆積した深海底堆積物や砂・泥が地下深部で高温・高圧にさらされて岩石化した変成岩も分布しており、花崗岩と合わせて石材や碎石、工業原料として利用されています。このほか、図幅の説明書には、足助地域内の断層、温泉、鉱山、災害など広く地質に関係した情報がまとめられています。今後も近隣の地質図幅調査を継続し、中部地方の大都市や工業圏の地質情報整備に貢献したいと思います。



5万分の1地質図幅「足助」(一部)赤系統の色で示される花崗岩類が広範に分布するのが特徴。地質図には断層、採石場、温泉、鉱山跡などの位置も示されている。